

# 音楽コース（実技プログラム）の入試について

視唱と演奏実技 (ア) 視 唱

16小節程度の新曲視唱。

(イ) 演奏実技 (A～Fの中から1つ選んで受験すること)

A ピアノ

B オルガン

C 電子オルガン

D 弦楽器 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・  
ハープ (グランドハープのみ)

E 管楽器 フルート・オーボエ・クラリネット・サクソフォーン・  
ファゴット・ホルン・トランペット (コルネットでも可)・  
トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ

F 打楽器 小太鼓・マリンバ

演奏実技試験内容

楽曲はすべて暗譜で演奏する。くり返しはしない。

弦楽器・管楽器・打楽器は伴奏なしで行う。

A. ピアノ 下記のハイドン作曲ソナタの中から1曲選び、その第1楽章を演奏する。

\* へ長調 Hob.XVI/23



\* ト長調 Hob.XVI/27

**Allegro con brio**



\* ト長調 Hob.XVI/G1

**Allegro**



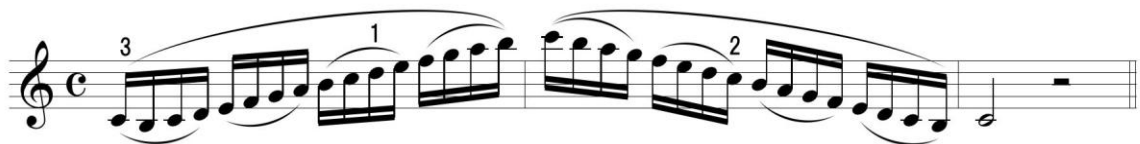
\* ホ短調 Hob.XVI/34

**Presto**



- B. オルガン (1) 《オルガンで受験する場合》自由曲  
 (2) 《ピアノで受験する場合》バッハ作曲インヴェンションより任意の1曲
- C. 電子オルガン 任意の楽曲。ジャンルは問わない。  
 使用機種は、ELS-02C とする。
- D. 弦楽器 調弦を自分でできるようにしておくこと。  
 《ヴァイオリンの場合》  
 (1) C dur (ハ長調) の音階\* を演奏する  
 (2) 任意の楽曲。  
 以上 (1) (2) を演奏する。

\* 音階



《ヴァイオリン以外の弦楽器の場合》  
 任意の楽曲。

入学試験で演奏された曲目例 (ヴァイオリン)

J. B. アッコーライ	コンチェルト	第1番
ヘンデル	ヴァイオリンソナタ	第2番・第4番
ベリオ	コンチェルト	第9番
ヴィオッティ	コンチェルト	第23番
J. S. バッハ	コンチェルト	第1番・第2番
モーツァルト	コンチェルト	第3番・第4番・第5番
エックレス	ソナタ	ト短調
ラロ	スペイン交響曲	第1楽章

E. 管楽器 任意の楽曲。

F. 打楽器 任意の楽曲。

※B(1)・C・D・E・Fの受験生は、ピアノの演奏試験は行わない。